

はじめに

ここに、シリーズ第17冊目となる「地方財政レポート2018 経済・財政・社会保障のこれまでとこれから」を刊行する。

最近における本レポート副題は「検証 社会保障・税一体改革」（地方財政レポート2012）、「安倍政権下の地方財政と地域」（同2014）、「新しい地方財政の展望『アベノミクスを超えて』」（同2016）と推移しており、それぞれの段階において展開されている、またはされつつある政策や将来を見据えた展望を念頭に置いて副題を設定してきた。

今回のレポートでは「これまでとこれから」としているが、どちらかという力点を「これまで」に置き、委員それぞれの問題意識に沿ってこれまでの状況をふりかえることを試みた。

もちろん、問題意識そのものや対象とする分野によりふりかえるべきスパンや「これから」との力点のバランスは異なることが想定されるためそれらを明確な執筆方針とすることは避けたが、2018年度終了時点の現状と課題を整理することができた。

全ての原稿の校正を終え、編集の最終段階においてこの研究会でも長く活躍された高木健二さんの訃報に接した。高木さんは、前回の地方財政レポートの完成後研究会を退いていた。謹んで哀悼の意を表するとともに、高木さんのこれまでの業績に敬意を表し、研究会の議論を活性化していただいたことを心から感謝したい。

2019年5月

公益財団法人 地方自治総合研究所

地方財政研究会メンバー および執筆分担

田中 信孝	(元岩手県立大学教授)	第1章
町田 俊彦	(専修大学名誉教授)	第2章
石原 健二	(元立教大学特任教授)	第3章
沼尾 波子	(東洋大学教授)	第4章
兼村 高文	(明治大学教授)	第5章
星野 泉	(明治大学教授)	第6章
飛田 博史	(地方自治総合研究所研究員)	第7章
中村 良広	(熊本学園大学教授)	第8章
澤井 勝	(奈良女子大学名誉教授)	第9章
横山 純一	(北海学園大学教授)	第10章